

离别的感受

最近几天，阳光明媚，春风和煦，终于在冬天的寒风凛冽地吹过后感受到了春天缓缓而来的脚步。可是，春天的降临也意味着告别。我即将结束在鸣门为期一年的国际交流员生活回国。回想起刚刚到达这个城市的情景，犹如昨天才发生，却不知，转瞬间，一年的时光匆匆而过。

虽然在来鸣门之前，曾经无数次来过日本，也在其他地方有过一个人生活的经验，但是四国和鸣门对于我来说还是陌生的，还是让我充满向往的土地。刚刚来到鸣门，就被美丽的濑户内海迷住了。从海上的大铁桥向下俯视，在潮水涨退的时候处于鸣门的这段内海由于地形关系而产生水位差异，从而形成了罕见的海上漩涡。那些在海面上不停旋转的一个个的漩涡，



那海水在一起互相碰撞然后又溶于一体的气势，真是让人感叹。还有这个小



城的宁静，让人不自觉地沉静和悠闲起来。大城市的喧嚣和浮躁让我很有身心疲惫之感，所以让这一年的鸣门生活带给我的舒适安详尤为可贵。身边的同事们亲切的态度更是让我很少有思乡的难过。然而，千里筵席终于还是到了落幕的时候，这一年的短暂生活确信能成为我一生中宝贵的财富，我将终生难忘。我更希望，能通过今后自己的努力，为这片土地跟中国架起一座友好的桥梁，让更多的中国人了解这个城市，让我有机会再次踏上这片热土。

お別れ

最近、冬の冷たい北風の代わりに温かい南風が吹き始め、春は近付いて来ました。春の到来は皆さんにとってとても嬉しいことだと思っておりますが、私にとって国際交流員として鳴門の生活を終えることを寂しく感じています。この一年間を振り返ってみると、最初に飛行機で来た日がまるで昨日のように感じます。

鳴門に来る前に、仕事の関係で、日本によく来ていました。また、日本で長期間住んでいたこともあります。四国と鳴門は私にとって未知でとても見に行きたいところでした。鳴門に来てから、すぐ綺麗な瀬戸内海に惹かれました。特に渦潮を高い大橋から見ると、とても迫力を感じました。地形の関係で満潮と干潮の時に海流は渦のように巻き、たくさん渦潮が出来ます。とても珍しい風景です。また、鳴門はとても静かな町で、都会に住んでいる私にとって、心が落ち着き、癒されるいい機会だと思っておりました。中国は人口が多くて、建設ラッシュで、賑やかな国ですが、落ち着く場所は逆に少ないです。鳴門の人達はとても優しく、人情深いので、この一年間はとても楽しく過ごさせていただきま

した。しかし、お別れをしないといけない時は来ました。この一年間の生活は宝物として一生忘れないようにします。今後、鳴門と中国の友好交流の懸け橋になるために頑張っていくことを決め、多くの中国人に鳴門のことをPRします。また、自分が再び来られるように頑張りたいと思っています。

桜花

说起日本，中国人必提的一定是富士山和樱花。最近几年，国内的旅行社一到春天便开始推出日本赏花之旅，而国内赏樱的名所一到季节更是人头攒动，热闹非凡，可见国人对这种白粉的小花也渐生喜爱之情。可是，日本人为什么会这么喜爱樱花，以至于只要提及日本就会让世人不自觉地想到它呢？

听说管理谷物的神灵就住在樱花树里，樱花与农事紧密相关，同时樱花的盛开预示着一



年之始的春季的到来，所以，古时候樱花对于以农业为本的日本人民来说就是意义非常的植物。另外，樱花花期短暂，盛开时的艳丽和凋谢时的迅速，都好似象征着人生无常。在日本古代，很多武士将樱花短暂的生命看一种自我牺牲的精神象征，因而，樱花备受日本国民的推崇。到了3月下旬，

电视台纷纷开始报道樱花开花的时间，被称为樱花前线，在满开的时候，日本国民都呼朋唤友一起到樱花树下野餐，一边欣赏漫天遍野的粉色，一边饮酒作乐，好一幅其乐融融的画卷。



樱花即将盛开了，我也将在这个美丽的季节离开日本，但是这片土地带给我的美好记忆我将永远珍藏。

桜

日本の国と言うと、中国人は必ず富士山と桜を思い出します。この数年間、春になると、中国の各旅行社は必ず日本の桜を鑑賞するツアーをPRします。そして、中国国内の桜の名所にもお客さんは多くて、とても賑やかです。中国人は桜の花を好きになって来ています。しかし、なぜ日本人が桜を好きなのかとよく疑問を持っています。

ネットで調べると、桜は穀物の神が宿るとも、稲作神事に関連していたともされ、農業に昔から非常に大切なものであった。また、桜の開花は他の自然現象と並び、農業開始の指標とされましたから、農業を大切にしている日本国民にとってもシンボリックなものだそう

です。そして、古くから桜はぱっと咲き、さっと散る姿で諸行無常といった感覚に例えられています。また、武士道を美德とした日本軍は桜が潔く散る姿を自己犠牲のシンボルとして多用されていました。いろいろな理由で、桜は日本の象徴になったそうです。毎年 3 月下旬になると、テレビで桜開花と桜前線の報道が多くなります。日本人は友達や家族と一緒に花見に行って、桜の木の下で飲んだり遊んだりして、とても楽しんでます。

しかし、私はその綺麗な季節に日本を離れます。少しさびしいですが、ここで沢山作ったいい思い出を一生忘れないように心の中においておこうと思っています。

所属： 鳴門市観光振興課

地址： 鳴門市撫養町南浜字东浜 170

(〒772-8501)

TEL: 088-684-1746

FAX: 088-684-1339

E-mail: kokusai@city.naruto.lg.jp

编辑： 刘蓉